

## 序 文

甲南大学教育学習支援センター副所長  
知能情報学部 和田昌浩

今から 20 年前の 1996 年に「電子計算センター」が現在の「情報教育研究センター」に改組して以来、甲南大学における情報教育とそれに関わる研究の拠点として発展してきました。そして、2015 年度に情報教育研究センターから「教育学習支援センター」へと生まれ変わり、情報教育だけでなく、本学の教学精神に基づく幅広い人材の育成と学習の取り組みを支援する組織へと進化しました。

教育学習支援センターでは、学生アシスタントの養成、BYOD (Bring Your Own Device) の積極的な導入、アクティブラーニングにおける評価の分析、学習支援システムの提案などいくつかの取り組みを実施してきており、また、甲南大学プレミアプロジェクトの一環としても、5 号館サイバーライブラリにおける学習スペースの改善やチューターの育成を行ってきました。

甲南大学におけるこのような取り組みや、本学の教育および学習支援に関わる成果を幅広く公開すべく、教育学習支援センター紀要を発刊する運びとなりました。甲南大学教育学習支援センター紀要は、創立者である平生鈞三郎が唱える「人格の修養と健康を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する人物教育」に基づく教育および学習に関する成果を広く普及させ、これらに関する活動をより発展させることを目的としています。また、電子公開や学外への積極的な広報も行うことで、教育学習支援センターの役割を明確にするとともに、甲南大学における教育およびその取り組みが幅広く周知されることも期待しています。

その記念すべき教育学習支援センター紀要第 1 号は、〇〇編の論文と〇〇件の報告を掲載するに至りました。ご寄稿くださいました先生方には厚く御礼申し上げます。さらに、本紀要は教育学習支援センターの記念すべき第 1 号ということもあり、初代所長の井上明先生からも発刊にあたってのお言葉をいただいています。本紀要を通じて、教育学習支援センターの取り組みや、本学における教育学習に関わる成果を広く知っていたければ幸甚に存じます。

このように新しい組織へと移行し、変遷の途中で改善すべき点や行うべき事もまだまだたくさんありますが、今後とも当センターの活動へのご理解とご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。